

気象の情報

気象庁が発表する注意報や警報などの「防災気象情報」を有効に活用し、早めの行動をとるようにしましょう。

住民自ら行動をとる際の判断に参考となる情報

情報	警戒レベルとの関連	予想される災害
大雨特別警報※1	警戒レベル5相当	内水氾濫・土砂災害
土砂災害警戒情報※2	警戒レベル4相当	土砂災害
洪水警報	警戒レベル3相当	洪水(外水氾濫)
大雨警報		内水氾濫・土砂災害

※1 大雨特別警報とは、大雨警報の発表基準をはるかに超える大雨が予想され、重大な災害の起こるおそれが高く高まっている場合に発表されます。ただちに適切な避難行動をとってください。

※2 土砂災害警戒情報とは、大雨警報(土砂災害)発表後に土砂災害の危険がさらに高くなった場合に発表されます。土砂災害(特別警戒区域の付近にお住まいの方は特に注意が必要です。

気象庁の発表する早期注意情報が警戒レベル1、注意報が警戒レベル2となります。

土砂災害

土砂災害の主な前兆現象

- 斜面にひび割れや膨らみなどの変形が見られるとき
- 斜面から水が噴き出してくるとき
- 水が濁ったり、水量が急に減るとき
- 木立が不揃いになったり、井戸の水が濁るとき
- 斜面から石ころが落ちるとき

がけ崩れ

大雨などをきっかけに、地面にしみ込んだ雨水により急な斜面の土砂が崩れ落ちる現象を言います。斜面の崩壊は突然おこりスピードも速いため、人家の近くでがけが崩れると逃げ遅れる人も多く、人的被害の発生しやすい災害です。



雨の強さと降り方

10ミリ～20ミリ

やや強い雨

地面からの跳ね返りで足元が濡れる。



20ミリ～30ミリ

強い雨

どしゃ降り、傘をさしても濡れる。



30ミリ～50ミリ

激しい雨

バケツをひっくり返したように降る。寝ていても雨の音に気付く場合がある。



50ミリ～80ミリ

非常に激しい雨

ゴーゴーと滝のように降り、低地では、道路冠水などが始まる。



80ミリ以上

猛烈な雨

息苦しくなるような圧迫感があり、大規模な災害が発生する可能性がある。



雨量は1時間の数値です。

風の強さと吹き方

風速 10～15m/s

やや強い風

傘がさせなくなる。



風速 15～20m/s

強い風

風に向かって歩けなくなる。



風速 20～30m/s

非常に強い風

何かにつかまっていなくて立っていられない。



風速 30m/s以上

猛烈な風

屋外での行動は極めて危険。



※風速は10分間の平均風速です。瞬間風速は平均風速の約1.5倍～3倍以上になることがあります。

排水ポンプの情報

上下水道局公式ウェブサイトの雨水(あまみず)情報より、お住まいの地域の排水ポンプの運転状況をご覧くださいことができます。



排水ポンプの運転状況



排水ポンプ運転状況画面



排水ポンプ情報の地区選択画面